

今週の News

1. 地域主体のまちづくり推進事業の募集
2. 全まち 2020-2021 in 大船渡の開催方針
3. 第1回寄付者懇談会の開催
4. 第10回まちビトトークに参加して
5. アンケートのお願い

■地域主体のまちづくり推進事業の募集（内山理事）

◇事業の概要

JSURP では 2017 年度より住民団体・商店街・NPO・民間企業等が主体となる“地域主体のまちづくり”を支援するため、無料で出前講座を実施しています。

◇募集团体数と実施内容

①地域向け出前講座：募集数5地域

地域主体のまちづくりに取り組みたいと思っている地域団体が対象です。テーマの要望に応じて、講師2人を3回派遣することが基本となります。

前半は講師によるレクチャーを行い、後半は自分たちのまちでのまちづくりを進めるための協議（ワークショップ）を実施します。

②自治体向け出前講座：募集数3自治体

地域主体のまちづくりを推進したいと考えている自治体が対象です。テーマの要望に応じて、講師2～4人を1回派遣することが基本となります。

前半は講師によるレクチャーを行い、後半は対象の自治体でまちづくりを進めるための協議（ワークショップ）を実施します。

③プレイスメイキングワークショップ：募集数1地域

プレイスメイキングとは「交流や活動の場づくり」です。駅前広場や公園、道路等の公共空間、あるいは、建物内のまちの拠点をつくり、人々が交流・活動する場をつくることを想定します。このプログラムは、プレイスメイキングに取り組んでみたい地域団体が対象です。

本格的なプレイスメイキングに取り組む前に、短期間の実験・体験と、本格実施に向けた作戦会議のためのワークショップを行うことを目的に行います。

◇応募方法等

上記3つのプログラムともに、実施に係る講師報酬費や旅費、資料印刷費、及びプレイメイキングに関わるイス・テーブル等の機材のレンタル費等の経費は当協会が負担します。

2021年7月31日までに、別紙要望書に記載いただき、下記の連絡先までメールにてお送りください。

要望書の様式については、JSURPのホームページをご確認ください。[\(https://www.jsurrp.jp/\)](https://www.jsurrp.jp/)

要望書の送り先

認定NPO法人日本都市計画家協会
理事 内山 征（うちやま すずむ）

uchiyama@almec.co.jp

■全まち 2020-2021 in 大船渡の開催方針（予定）

全まち 2020-2021 シリーズの集大成となる「全まち 2020-2021 in 大船渡」の開催方針については、現在全まち部会において企画検討中ですが、概ね以下の方向で開催を予定しています。詳細については今後詰めていく予定です。

①日時：10月16(土)、17(日)

②開催場所、開催方式（covid-19が一段落の場合）

岩手県大船渡市と三陸沿岸都市を繋いで開催

主会場：おおふなぼーと+キャッセン大船（予）

サブ会場：石巻市、気仙沼市、大槌町等を予定

リモート会場：分科会開催地区（熊本市、岡山市
真備地区、北海道厚真町等）

③開催テーマ

「防災、災害とまちづくり」を主題として検討中

④プログラム（案）

16日（土）午後：石巻、気仙沼、大槌+大船渡で
2020年以降開催してきた分科会議論を踏まえ、被災地区を視察したのち、総括的分科会を開催。

◇各地区ごとに 現地視察

分科会

交流懇親会

17日（日）午前～3時頃

午前：前日の分科会結果の報告

テーマ別セッション

（家協会賞表彰式）

午後：総括セッション

テーマ別セッションの報告

東日本での経験～今後の防災まちづくり

⑤「全まち 2021 in 大船渡」ツアーパックの企画

東京など遠隔地からの全まち in 大船渡への参加に向け、ツアーパックを検討します。震災から10年を経た「被災地の今」を現地で視察し、現地の方々と交流して実感してみませんか。

ツアーパックの内容等は今後具体的な企画について検討を行う予定です。

被災地ツアーに興味のある方、ツアーパックの企画に参加しませんか。

■全まち厚真分科会の開催案内（宮崎）

日時：2021年7月24日（土）13:30～17:00

会場：オンライン配信（参加無料）

プログラム

第1部 「胆振東部地震の特性と地域再生支援」

第2部 「“災害”と“再生”にまつわるそれぞれの活動とこれから」—地元関係者によるセッション

第3部 「今後の地域づくりに向けて」—地元関係者とJSURPメンバーによるトークセッション

■第1回寄付者懇談会の開催（長谷川理事）

昨年12月に開催したJSURP25周年記念のシンポジウムにおいては、JSURP初代会長の伊藤滋先生のお声掛けもあり、これまでよりも多くの企業の皆さんにご支援を頂き開催致しました。これまで、JSURPでは、毎年開催している全国まちづくり会議へのご支援を中心に寄付を募っており、その為、全国まちづくり会議の開催報告は行っておりましたが、JSURP全体の活動報告やこれから行おうとしている取組みについてご説明する機会がありませんでした。

JSURP中期ビジョンでも整理したようにこれからは、我々が持つ経験や知見を社会に還元し、まちづくり、都市計画のアップデートを進めていくプラットフォームとなるが必要と考えています。そのような中で、ご寄付頂いている企業の皆さまとの対話を行い、我々の活動を理解して頂くと共に、我々に何が求められているのか、どのようなパートナーシップが描けるのかを議論、共有する場が必要と考え、この度、初めての試みとして「寄付者懇談会」を開催いたしました。

「寄付者懇談会」は、7月13日（火）18時～20時で完全オンラインにて行い、14社、26名のご参加を得る事ができました。JSURP側では10名の理事が参加しました。

懇談会は、2部構成で行い、前半は小林英嗣会長の挨拶からスタートし、渡会専務理事から昨年度の活動報告と今年度の活動計画についてご説明しました。特に今年度の活動計画については、全まち会議やまちづくりカレッジ、企業連携プログラム等、広く参加を募りたい事業やJANPIA等新たなかつ、SDGs等の社会課題に取り組む事業について説明を行い、引き続いてのご支援をお願いしました。

後半では、JSURPがこの10年注力してきた東北の震災復興支援の活動について全体の流れや個別の事例、そこで得た気づき等をご紹介し、ご参加頂いた企業の皆さまと共に、首都直下地震や南海トラフを見据えて、この10年で学んだこととそれを次のまちづくり、復興支援にどう活かしていくのかについてや、その中でのJSURPというまちづくりの専門家集団に何を期待するかといったことについて、参加した理事を交えて議論を行いました。

議論では、震災直後から復旧、復興の段階を連続的かつ俯瞰的に時間軸を意識しながら考えていくことの重要性や自治体、住民、企業という異なる主体をどう動かしていけるかといったことについて意見交換を行いました。そしてその中で、多様な主体をつなぐプラットフォームとしての役割をJSURPに期待できるのではないかといいご意見も頂きました。

閉会の挨拶では小林会長から改めてのお礼の挨拶と共に、今後の継続的な対話の場を持つていくことを約束して終了いたしました。

■第10回まちビトトークに参加して（渡会）

◇イントロ

7月7日の夜に、オンラインで開催された「第10回まちビトトーク」に参加してみました。前のオンライン会議が少し長引いてしまったので、途中からの参加でしたが、興味深いトーク・会話がされていました。

◇どのような集まり？

「まちビトトーク」というのは、まちビト会議（都市計画家協会若手プロジェクト）というグループが主催するイベントで、「まちビト＝自己流の活動がまちに影響を与えた人」をゲストに招き、参加者とともにトークセッションを行うものの様です。

今までに9回実施されており、第1回は銀座ミツバチプロジェクトの田中氏、第4回は福岡市で行われた全まち2018 in 福岡にまちビト・トーク#4として参画、第7回は東京江東区で開催された全まち2019にまちビト・トーク#7として参画するなど、2018年以降開催を重ねています。まちビト・トーク#7では「まちに根付くコーヒー店の魅力」をテーマに、全まち会場で実際にゲストのお店に出しているコーヒーを味わい筒のトークセッションが行われました。

◇第10回まちビトトークに参加して

第10回のまちビトトークのゲストは、釜石市の箱崎半島の根浜地区の旅館（宝来館）で働いていた時に東日本大震災の大津波の被災にあい、その後災害ボランティア活動を始め、一般社団法人三陸ひとつなぎ自然学校（通称さんつな）を設立して活動を開始した代表理事伊藤聡さん、テーマは「人と人とのつながりを生かした復興まちづくり」です。

トークセッションでは、震災から10年、自分自身がこの10年間でどう変わったのか、という様な率直な話もされ、協会の通常のセッションなどと比べてより個人の内側に近い、いわば人間くさい話がされる、率直な場の雰囲気を感じました。

■アンケート回答のお願い

JSURPでは現在コロナ後を見据えて、協会活動のあり方（ビジョン・ミッション等）の検討を行なっています。この基礎情報として会員情報のアップデートと、会員ニーズの把握分析を行うこととしました（協会活動の基礎となる会員各位の情報は、多くの場合入会時情報のまま更新が十分なされていません）。

こうしたことから、会員の皆様の意向把握に関する調査を7月中旬に行う事とし、質問票をプランナーズ93号に同封して郵送いたします。回答は下記webサイト、或いはアンケート票に記載されているQRコードからグーグルアンケート回答欄に入って回答する様お願いいたします。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScNGKdG7VqUfuyIUxoemgSvwDVZsLC9UpduVuio3O5XJSKYTg/viewform>

■今月の予定

- ①7月20日（火） 第190回理事会
- ②7月24日（土） 全まち2020-2021厚真分科会
- ③7月29日（木） 研究会協議会